

平成31(令和元)年度 社会福祉法人恵愛会事業報告

【恵愛会経営方針】

当法人は「社会・地域における福祉の発展・充実」を使命とし、社会福祉事業の安定的・継続的経営に努めると共に、多様な福祉課題に柔軟かつ主体的に取り組むため、次の経営方針に基づき、公共性・公益性かつ信頼性の高い経営を目指し努力しました。

- (1) 人権の尊重
- (2) サービスの質の向上
- (3) 地域との共生
- (4) 社会的ルールの遵守（コンプライアンス）の徹底
- (5) 説明責任（アカウンタビリティ）の徹底
- (6) 利害関係者との適切な関係の保持
- (7) 人材育成・適切な人事・労務管理の実践
- (8) 公共的・公益的取り組みの推進
- (9) 組織統治（ガバナンス）の確立
- (10) 財務基盤の安定化

また、定時の理事会・評議員会を下記の通り開催しました。

○理事会：5月22日、6月11日、11月21日、3月25日

○評議員会：6月11日

1. 障害者支援施設 大佐荘

【サービス方針】

1. 個別支援計画書に沿った利用者本位のサービスの提供ができました。
2. 苦情受付第三者委員及び苦情受付担当者による受付窓口を開設しました。本年度、利用者からの苦情はありませんでした。
3. 虐待防止・身体拘束委員会を毎月開催し、会議録の閲覧等で職員の意識改革に努めました。
4. 事故報告及びヒヤリハット等についてリスクマネジメント委員会で検討し、再発防止に努めました。本年度は、1件(転倒)の事故報告がありました。
5. 感染症のマニュアルに沿った対策を実施し、感染防止に努めました。本年度インフルエンザの発症者はいませんでした。また、令和2年2月より、新型コロナウイルスに対して検討会を開催し、利用者家族の面会制限及び業者への対応、また職員の検温・手洗い・マスク着用、不要な外出等を控えることなどについて周知徹底しました。
6. 利用者の状態を考慮した日中活動の提供に努めました。また、希望に沿った買い物やドライブ等の行事を行いました。
7. 夜間を想定した防災避難訓練や消火訓練など、様々な災害を想定した訓練を実施しました。また、備蓄食の確保を行いました。

【事務】

1. 建物の維持管理に努めました。
2. 岡山県健康づくり財団レントゲン車による利用者の胸部X線撮影を行い、健康維持に努めました。職員においては、倉敷成人病健診センターの検診車により定期健康診断を5月・11月に実施しました。また、働き方改革に沿った有給休暇の取得に

努めました。

3. 納涼祭の開催、ボランティア及び実習生の受け入れなど、地域住民等との交流を積極的に行いました。
4. 本年度も外部研修への積極的な参加を行い、人材の育成に努めました。
5. E P A介護福祉士候補者の教育・指導に力を注ぎました。本年度1名の合格者がありました。
6. 新卒就職者獲得につなげるため、近隣大学・短大との交流及び市内外の「就職フェア」等に積極的に参加しました。今年度2名の新卒の新任職員を獲得することができました。今後も継続した交流を行っていきたいと思います。

【給食】

1. 利用者個々の栄養マネジメントについて他職種協同で取り組み、適切な栄養管理に努めました。
2. 備蓄食糧の保管管理はできましたが、災害時の対応方法については検討中です。
3. 利用者の要望や意見を取り入れ、巻き寿司やお好み焼きを提供するなど、楽しみの持てる食事の提供に努めました。
4. 問題があればその都度対策を取り、衛生管理の徹底を図りました。

【訓練】

1. 3ヶ月ごとにリハビリテーション実施計画書を策定し、その計画をもとに、関節拘縮の予防や疼痛の軽減など、身体機能が維持改善できるよう個別対応を重視した機能訓練を提供するとともに、自主訓練を推進しました。
2. 快適な離床機会が得られるよう、必要に応じ車椅子の修理・改良に務めるとともに、点検や清掃を実施しました。また生活改善に向けての自助具の考案・作製を随時行いました。
3. 毎月体重測定を実施し、健康の維持管理に役立てました。

【看護】

1. インフルエンザ・コロナウィルスの対応を話し合い、感染防止を厳重に行いました。本年度、インフルエンザ・ノロウィルスなどの感染者はいませんでした。
2. 誤薬防止については、食札に付ける人・確認する人を別々にして対応しました。
3. 疾病については、各種職員と連携を取り、早期発見・早期治療に心がけ、主治医との連絡・報告を密にし、早めの対応を行いました。
4. 毎日の観察、報告に耳を傾け早期の治療に心がけました。又、完治まで経過観察し記録に残しました。
5. 褥瘡に関しては、作らない、早期発見・早期治療を心がけ対応しました。また、既に褥瘡があり、治療中の利用者に対しては、専門医への受診により治癒に努めましたが完治には至りませんでした。

【福祉課】

1. 利用者一人ひとりの人権を尊重し、常に利用者の立場に立った支援サービスに努めました。
2. 利用者、家族のニーズを基に、利用者が主体的に生きがいのある生活が実現できるよう個別支援計画を策定しました。また、定期的な見直しや状況の変化による見直しを随時行い、必要とする支援の提供に努めました。

3. リスクマネジメント、感染予防、虐待防止、身体拘束の委員等を常時開催し、人権擁護の徹底、安心・安全なサービスの提供に努めました。
4. 苦情・要望・相談の体制を整え、施設全体で早急な対応に努めました。
5. 各種研修へ積極的に参加する機会を提供し、専門職としてのスキルアップを図り、職員の人権擁護意識及び倫理観の高揚に努めました。
6. OJT研修の実施を行い新人職員の育成に努めました。しかし、理学療法士・看護師と連携した専門知識の習得に務める職場研修は、時間・人員不足で実施できませんでした。
7. 行事やボランティアの受け入れを通じて、地域との交流を図りました。

《清掃・洗濯》

1. 施設内がいつも清潔で気持ち良い空間であるために清掃に力を入れました。また、6月と12月に大掃除を実施し施設内の美化に努めました。
2. 洗濯物は、着衣の清潔を保つことを第一に綺麗に早く、利用者の元に届けました。

【相談支援事業】

1. 利用者・家族のニーズに沿った福祉サービスが利用できるよう各種サービス提供機関と連携を取りサービス等利用計画を作成しました。
2. 本年度、相談支援事業所実務者連絡会等の会議が開催されず、他の相談支援事業所との情報交換・連携を図る機会を設けることができませんでした。

【別表】

(1) 固定資産購入・修繕工事

固定資産 修繕工事	電動ベッド1台〔㈱ティーエスアルフレッサ〕	288,954円
	電動ベッド1台〔㈱ティーエスアルフレッサ〕	224,748円
	電動ベッド1台〔㈱ティーエスアルフレッサ〕	284,040円
	全自動洗濯機1台〔田中実業㈱〕	815,011円
	天井走行リフト1台〔㈱ティーエスアルフレッサ〕	934,027円
	電動ベッド1台〔㈱ティーエスアルフレッサ〕	284,040円
	貯水タンク1基〔㈲山田産業〕	918,000円
	ナーシングストレッチャー1台〔㈱ティーエスアルフレッサ〕	299,800円
	ナーシングストレッチャー1台〔㈱ティーエスアルフレッサ〕	299,800円
	ダイハツハイゼット〔㈱オアシスジャパン〕	1,250,000円
	職員住宅C棟改修工事〔片岡工業㈱〕	3,456,000円

(2) 施設外研修

月	日程	研修会名	参加者
4月	26日	接遇リーダー研修	吉田範保
5月	14日	新見公立短期大学 実習指導者連絡会議	坂本睦子、塚原宏枝
	16日、23日	コーチング研修	土屋貴弘
	24日	接遇リーダー研修	八田真光
6月	14日	新見公立短期大学 実習指導者連絡会議	坂本睦子、塚原宏枝
	16日、23日	コーチング研修	土屋貴弘
	24日	接遇リーダー研修	八田真光

月	日程	研修会名	参加者
7月	3日～4日	相談支援従事者初任者研修	小松美佐子
	3日～4日、9日	相談支援従事者初任者研修	坂本睦子
	5日	岡山県福祉・介護職員合同入職式	上田悠紀
	7日、27日、28日	相談支援従事者初任者研修	小松美佐子
	12日	初任者重点テーマ強化研修	藤井友海
	18日～19日	平成27・28年度入国候補者第1回集合研修	A・カーラ
	30日	総合就職フェア説明会	小林正樹
8月	1日 2日	相談支援従事者初任者研修	坂本睦子
	5日	中堅職員重点テーマ強化研修	井上将和
	6日 7日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修(チームリーダーコース)	竹平久美子
	21日～22日	岡山県介護福祉士実習指導者講習会	小谷深春、吉井萌英
	28日～29日	岡山県介護福祉士実習指導者講習会	小谷深春、吉井萌英
	26日～29日	第42回全国身体障害者施設協議会研究大会	中山博文、池田早希、石田千春、八田真光
9月	10日	阿哲商工会社員研修	小林正樹
	10日	チームリーダー重点テーマ強化研修	眞壁孝夫
	12日～13日	岡山県身障部会実践発表会	坂本睦子、谷本真里
	17日	対人援助技術研修【基礎コース】	田井佐代子
9月	20日	クレーム対応研修	小林正樹
	24日～25日	平成27・28年度入国候補者第2回集合研修	A.カーラ
	25日～26日	国際福祉機器展	湯浅英夫、田井佐代子、土屋貴弘
10月	4日	リスクマネジメント研修【中堅コース】	岡崎光洋
	7日	リスクマネジメント研修【指導コース】	小林正樹
	10日～11日	OJT指導者研修	塚原宏枝
	17日～18日	中四国身体障害者施設協議会研修会（徳島）	吉田 聖、松本美和、石本雅規、藤井友海
11月	13日～15日	中四国身体障害者施設協議会 支援職員研修会	尾畑有紀
	28日～29日	介護技術向上研修	吉田範保
	26日～27日	介護職員指導技術研修	井上将和
1月	9日、15日、21日、23日	介護支援専門員研修	小松美佐子
	29日	福祉施設・事業所研究交流セミナー	小林正樹
2月	5日	キャリアパスを活かした人材マネジメント研修	八田真光
	19日、26日	介護支援専門員研修	小松美佐子
	19日～20日	セルフマネジメント研修	田井佐代子
3月	2日、4日	介護支援専門員研修	小松美佐子

(3) 年間行事等

月	日程	催 事・その他	参加者
4月	13日	自治会総会	利用者50人・職員4人
	16日	花見会	利用者63人・職員37人
	26日	ふるさと訪問	利用者2人・職員2人

月	日程	催 事・その他	参加者
5月	10日	ショッピング〈真庭方面〉	利用者3人・職員3人
	14日	ショッピング〈イオン倉敷〉	利用者3人・職員3人
	17日	ふるさと訪問	利用者1人・職員2人
	21日	ショッピング〈真庭方面〉	利用者3人・職員3人
	22日	ふるさと訪問	利用者2人・職員3人
	22日	夜間防災避難訓練（おおさ苑と合同） ※出火場所：大佐荘	大佐荘利用者人75人（内、避難27人） おおさ苑利用者50人（避難待機） 職員47人・防災協力委員8人 消防署員2人
	24日	ショッピング〈イオン倉敷〉	利用者3人・職員3人
	28日	ショッピング〈イオン倉敷〉	利用者3人・職員3人
	29日	ふるさと訪問	利用者3人・職員3人
	31日	ショッピング〈津山方面〉	利用者3人・職員3人
6月	4日	ショッピング〈イオン津山〉	利用者3人・職員3人
	7日	ショッピング〈真庭方面〉	利用者2人・職員2人
	11日	ふるさと訪問	利用者3人・職員3人
	19日	レクリエーション大会	利用者55人・職員15人
	21日	ショッピング〈イオン倉敷〉	利用者3人・職員3人
	25日	ショッピング〈真庭方面〉	利用者3人・職員3人
	28日	ショッピング〈イオン倉敷〉	利用者3人・職員3人
7月	2日	ショッピング〈イオン倉敷〉	利用者2人・職員2人
	12日	ショッピング〈イオン倉敷〉	利用者2人・職員2人
	9日	ショッピング〈イオン津山〉	利用者2人・職員2人
	5日	ふるさと訪問	利用者2人・職員2人
	27日	第35回納涼祭 （メインステージ：ラグズ&ジェラ、デイルイト、 蝦名宇摩：津軽三味線）	地域住民650人、利用者72人 家族32人、ボランティア42人・職員54人 防災協力委員8人、地区消防団13人
8月	23日	焼肉デー	利用者66人・生活介護1人 職員21人
9月	11日	夜間防災避難訓練（おおさ苑と合同） ※出火場所：おおさ苑	大佐荘利用者人73人（避難待機） おおさ苑利用者50人（内、避難16人） 職員36人・防災協力委員6人 消防署員2人
	3日	ショッピング〈イオン倉敷〉	利用者3人・職員3人
	10日	ショッピング〈イオン倉敷〉	利用者3人・職員3人
	13日	ショッピング〈イオン倉敷〉	利用者3人・職員3人
	7日	ショッピング〈イオン津山〉	利用者3人・職員3人
	20日	ショッピング〈真庭方面〉	利用者3人・職員3人
	28日	ショッピング〈イオン津山〉	利用者3人・職員3人
10月	2日	ふるさと訪問	利用者3人・職員3人
	5日	ショッピング〈真庭方面〉	利用者3人・職員3人
	9日	ショッピング〈真庭方面〉	利用者2人・職員2人

月	日程	催 事・その他	参加者
10月	11日	レクリエーション大会	利用者47人・職員13人
	12日	ふるさと訪問	利用者2人・職員2人
	16日	ショッピング〈イオン倉敷〉	利用者3人・職員3人
	18日	ショッピング〈新見方面〉	利用者2人・職員2人
	22日	ショッピング〈イオン倉敷〉	利用者3人・職員3人
	23日	ショッピング〈津山方面〉	利用者3人・職員3人
	26日	ショッピング〈真庭方面〉	利用者2人・職員2人
	30日	ショッピング〈イオン倉敷〉	利用者2人・職員2人
11月	1日	ショッピング〈イオン倉敷〉	利用者2人・職員2人
	6日	ふるさと訪問	利用者2人・職員2人
	9日	ふれあい祭り (マジシャンゆかりによるマジックショー他)	利用者69人・利用者家族43名 職員30人
12月	17日	クリスマス会	利用者57人・職員25人
1月	10日	新年会・米寿・還暦祝賀会	利用者64人・職員23人
3月	14日	ひな祭り	利用者63人・職員23人

(4) ボランティア・施設見学・実習生等受け入れ

受 入 日	ボランティア・施設見学等	実 習 生
5月22日	地域防災協力委員夜間防災訓練参加(6人)	
6月3日～6月29日		新見公立短期大学介護実習(3人)
8月8日	夏のボランティア体験受入(1人)	
8月9日	夏のボランティア体験受入(1人)	
8月17日	夏のボランティア体験受入(4人)	
7月27日	納涼祭ボランティア (新見公立短大27人、地域防災協力員8人、 新見市消防団大佐分団13人)	
8月30日	大佐中学校ボランティア打合せ1名	
9月11日	地域防災協力委員夜間防災訓練参加(6人)	
10月21日～11月16日		県立大学短期大学部介護実習(3人)
10月2日	JA阿新婦人部清掃ボランティア(10人)	
10月8日	華道ボランティア(2人)	
11月9日	ふれあいまつりボランティア (新見公立短期大学生3人、四葉会4人)	
12月10日	華道ボランティア(2人)	
1月21日	華道ボランティア(2人)	
3月2日～3月14日		新見公立短期大学介護実習(3人)

(5) 利用者状況 (R2.3.31現在)

◇支援費実施機関別入所状況

	男	女	合計		男	女	合計		男	女	合計
岡山市	6	2	8	井原市	1	0	1	里庄町	0	1	1
倉敷市	3	1	4	高梁市	2	0	2	矢掛町	0	1	1
赤磐市	1	0	1	新見市	20	11	31	美咲町	1	0	1
玉野市	0	1	1	真庭市	8	6	14	新庄村	1	0	1
総社市	1	0	1	津山市	3	0	3	合計	47	23	70

◇障害者手帳等級

等級 性別	1級	2級	3級	4級	5級	無	合計
男	31	10	2	1	1	2	47
女	13	6	1	0	0	3	23
合計	44	16	4	1	1	5	70

◇障害支援区分

区分 性別	3	4	5	6	合計
男	3	6	9	29	47
女	2	5	4	12	23
合計	5	11	13	41	70

◇年齢別構成

種類 性別	20~ 29	30~ 39	40~ 49	50~ 59	60~ 69	70~ 79	80以上	合計	平均年齢
男	0	2	2	12	19	10	2	47	62.91
女	0	0	4	2	8	8	1	23	64.00
合計	0	2	6	14	27	18	3	70	63.27

最高	最低
89	33
80	40

◇在所期間状況

種類 性別	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	合計	1人当り平均 在所期間
男	2	2	4	10	7	9	13	47	15年4ヵ月
女	0	0	2	4	4	3	10	23	17年9ヵ月
合計	5	9	6	14	11	12	23	70	16年2ヵ月

最高期間 38年4ヵ月
最低期間 5ヵ月

2. 特別養護老人ホームおおさ苑

【サービス方針】

1. 個人情報保護と守秘義務の遵守に努めました。
2. 地域との関りを深め「その人らしさを大切に」したケアに努めました。
3. 生活リハビリに努め筋力低下及び拘縮の予防に努めました。
4. ケアカンファレンスアセスメントを適正に行いました。
5. リスクマネジメントの充実を図り、事故防止に努めました。
6. 高齢者虐待防止法と身体拘束廃止を理解し人権を尊重したサービスの提供に努めました。
7. 利用者のQOL（生活の質）の向上を図りました。
8. 嘱託医師・家族と連携を行いニーズと実態に添った適切な終末期ケアに努めました。
9. 第三者委員による苦情相談及びアンケート調査を行い、苦情解決とニーズの把握に努めました。
10. 年間行事計画に基づき四季折々の行事の実施を行いました。

【事務】

1. 建物・設備等の保全については、所々に老朽化がみられることから、その都度応急処置的な修繕を行いました。空調設備・ボイラー・消防設備・電気設備等については、専門業者と連携を取り、保守委託契約を締結し、定期的に点検・修理を行うことで、スムーズな管理運営に努め、快適な生活空間を提供できました。
2. 働き甲斐のある職場環境については、職員のメンタル面での支援を行うため、全職員を対象にストレスチェックを実施し、高ストレス者に対してはプライバシーを十分に考慮したうえで精神面での支援を行いました。また、年に2回の健康診断・腰痛検診・人間ドック等への支援、ユニフォーム支給、親睦会への助成等幅広く行い、働きやすい職場作りに努めました。
3. 各所修繕工事及び固定資産物品購入を行いました。（別表（1））
4. 全職員個々に研修計画を作成し、資格取得助成金制度推奨及び教材等の貸与・支給を始め、外部研修参加費・旅費交通費の助成を行いました。その他、内部研修の充実を図り、業務知識の向上を目指しています。（別表（5））。
5. 防災活動については、消防計画に基づき消防署の指導及び防災協力委員と連携のもと夜間を想定した訓練を年に2回行いました。また年々増加する土砂災害及び地震等についてもマニュアル及び避難計画を作成し、職員に周知徹底することで防災意識の向上を図りました。
6. 実習及びボランティアの受け入れについては、行事・園芸・草取り・清掃や音楽ボランティア等の受け入れ、大学生介護実習、小中学校の総合学習や職場体験の受け入れを積極的に行い、地域交流と福祉教育に努めました。
7. E P A介護福祉士候補生2人のうち1人が昨年度末をもって在留期間の満了にて退職し本国に帰国の運びとなりました。また12月より2名の新規E P A候補生を受け入れることとなっており、今後より一層の教育・職場環境整備・日常生活支援等の体制を確立することで長期的に働ける雇用環境を整えていきます。
8. 新卒就職者獲得につなげるため、近隣大学・短大との交流及び市内外の「就職フェア」等に積極的に参加しました。今年度1名の新卒の新任職員を獲得することができました。今後も継続した交流を行っていきたいと思います。
9. 日頃より職員に対し消耗品や光熱水費等のコストを意識した業務を行うよう指導す

ることで経費の削減を図っています。また「業務改善提案」として職員より日頃の業務改善のアイデアを募り、優秀なアイデアについては表彰することで職員のコスト意識及びモチベーションの向上を図っています。

【給食】

1. 利用者個々の健康状態、疾病状況、日常生活動作などを考慮した栄養ケア計画を作成し、適切な栄養補給、栄養管理に努めました。特に栄養状態の低下がみられた利用者に多職種協働で取り組み、栄養補助食品等活用し栄養状態の改善に取り組みました。
2. 利用者の嗜好にあった食事内容(調理方法・提供方法・食材の種類等)となるように委託業者と連携を密にして適切な食事提供に努めました。
(軟飯やあんかけ・ソフト餅・ソフト寿司など)
3. 食堂にて利用者と共に手作りおやつや調理実習を実施し、楽しみのある内容となるように工夫しました。毎月1回実施する計画でしたが2月以降は感染症予防のため中止しました。
4. お茶用コップを軽くて持ちやすい取っ手のマグカップに変更し、利用者が水分摂取し易い様に取り組みました。また、おやつの飲み物も種類を増やし利用者に喜ばれました。
5. 配膳車を工夫する事で、下膳作業がスムーズになり利用者にもゆっくり食事をしていただけるようになりました。

【訓練】

1. 利用者のケアプランに沿った機能訓練を行い、心身機能維持向上に努めました。
2. レクリエーションや手芸、脳トレ、カラオケなど楽しみながら身体機能の維持向上や認知症予防に努めました。食事の前に嚥下体操を行ったり、胃瘻栄養の利用者には発語を促すような声掛けを行いました。
3. 機能訓練指導員の指導・見守りのもと、事故なく安全に実施できました。

【看護】

1. 病気の予防と異常の早期発見については、嘱託医への報告と診察により必要な検査や治療、処置を行いました。高齢なため季節を問わず入院や通院も多くありました。
2. 感染防止については、12月以降問題となっている新型コロナウイルスの感染防止についてはインフルエンザ以上の危機感をもって蔓延予防に努めました。検査や診断が難しいため外来者の面会制限を入館制限に変更し、職員においては濃厚接触者がいない場合においても症状があれば出勤停止とし経過観察を行いました。3月末現在施設内への新型コロナウイルス持ち込みはありません。また、インフルエンザについては、昨年同様予防投薬の使用により、入所者への感染を防ぐことが出来ました。
3. ターミナルに近い利用者への対応については、病院へ入院するケースが殆どですが利用者と家族が最期まで安心して過ごせるよう病院の選択を含め方法を模索しました。夜間の緊急体制については、オンコールで対応できない事例は看護師が出勤し対応しました。
4. 毎年、介護職員の喀痰吸引等資格取得のための研修を行っています。胃瘻による経管栄養者は減少傾向ですが、吸引が必要な利用者は常にあるので安全に実施できるよう職員教育に努めました。
5. 胃瘻による経管栄養では、定期通院と健康管理により異常の早期発見に努めました。

嘔吐や肺炎を起こしやすい利用者は、特に便秘の予防や吸引、異常の早期発見につとめることで安全に栄養を提供しました。

【介護】

1. ケアプランはアセスメントを行いその人らしさを大切にしたプランの作成に努めました。また、適宜モニタリングを行い新たなニーズが発生していた時には、再アセスメントを行い適したプランを作成しサービスを提供しました。
2. 人権擁護と高齢者虐待の研修を実施し、提供しているケアの振り返りを行い、不適切なケアは行われていないか確認できる機会になりました。
3. 身体拘束は引き続きゼロを継続する事が出来ました。また、全職員に年2回の研修を実施し身体拘束を行うことの弊害について等学ぶことができました。
4. ヒヤリハットや事象事例をもとに研修を行いリスクマネジメント能力の強化に努めました。特養の入所者については事故はありませんでした。
5. 尿測やブリストルスケールを用いて、本人に適したおしめの選択を行い、快適な排泄の支援が提供できました。個々の適切なおむつを使用することでコストの削減にもつながりました。

【生活相談・苦情受付】

1. 苦情解決窓口や意見箱を設置し、利用者・家族からの苦情把握に努めました。
2. 第三者による苦情相談を実施し、日々の中での利用者個々の苦情や相談、要望の把握を行い、迅速な解決・対応に努めました。
3. 家族に利用者の日常生活の様子を連絡表や電話にて随時情報提供し、信頼関係の構築に努めました。また、サービスに対するアンケート調査も行い、利用者・家族の満足度の把握に努めました。

【清掃・洗濯】

1. 清掃員が不足し床掃除が不十分であったため、アルバイトの雇用や新規清掃員を採用し衛生管理に努めることができました。また、年度末より新型の感染症の流行に伴い、消毒方法の徹底や見直しを行い感染対策に力を入れています。
2. 洗濯物は汚染等あれば消毒を行い清潔にし、それぞれのロッカーに迅速に配る事が出来ました。

【別表】

(1) 修繕工事及び固定資産物品購入

	品 目	金 額
固定資産 物品購入	交流ホームGHP更新工事〔特養〕〈田中実業〉	6,292,000円
	ボイラー更新工事〔通所〕〈日本サーモエナー〉	2,160,000円
	ダイハツムーヴシートリフト車〔特養〕〈オアシスジャパン〉	848,750円
	スズキワゴンR〔小規模〕〈自光モータース〉	1,018,380円
	トヨタパッツ〔小規模〕〈自光モータース〉	1,289,000円
	スズキソリオ〔特養〕〈自光モータース〉	1,236,000円
修繕工事	事務所空調機修理〔特養〕〈中電工〉	395,000円

(2) 介護実習受入状況

学 校 名	期 間	人数	延べ人数
新見公立短期大学地域福祉学科	6/3(月)～6/29(土)	3名	66名
新見公立短期大学地域福祉学科	10/22(月)～11/20(金)	3名	66名
順正高等看護学校介護福祉学科	12/16(月)～12/20(金)	2名	10名
合 計		8名	142名

(3) 年間行事

月	日	行 事	実施場所	利用者		家族	職員
				施設利用	短期利用		
4	20	花見会	地域交流ホーム	38	5	36	20
5	8	端午の節句	食堂ホール	28	3	0	4
7	10	七夕交流会	交流ホーム・食堂	40	8	0	16
	27	第38回 納涼祭	大佐荘駐車場	30	5	20	24
8	24	夏祭り	食堂ホール	47	8	0	13
9	7	敬老会	地域交流ホーム	39	8	32	19
10	19	ふれあい祭り	苑全館	39	5	28	27
11	6	レクリエーション大会	食堂ホール	27	9	0	6
12	4	クリスマス会	食堂ホール	30	6	0	16
1	8	新年祝賀会	交流ホーム	33	0	0	14
2	5	節分祭	実施できず	-	-	-	-
3	7	ひな祭り会	食堂ホール	48	10	0	4
合 計				399	67	116	163

(4) ボランティアの受け入れ状況

月/日	活 動 内 容	延べ人数	個人または団体名
4/20	花見会屋台ボランティア	3	新見公立短期大学
4/20	花見会アトラクション「歌謡ショー」	3	あざみの会
4/23	清掃ボランティア(草取り)	5	四葉会
5/15	園芸ボランティア(花野菜の寄せ植え)	8	新見園芸福祉ボランティア
6/8	清掃ボランティア	29	家族会
6/27	清掃ボランティア(ベッド掃除)	5	四葉会
7/10	交流会	16	刑部小学校6年生
7/22～23、26	夏のボランティア	3	夏のボランティア
7/27	納涼祭ボランティア	42	新見公立大学・短大
9/7	敬老会アトラクション(神楽)	7	萬歳子ども神楽
9/7	敬老会アトラクション(歌・踊り)	8	老人クラブ
9/27	交流会	26	大佐中学校3年生
10/9	園芸ボランティア(ホッパク作り)	5	新見園芸福祉ボランティア
10/19	ふれあいまつりアトラクション	10	鍵ハモきっず隊
10/19	ふれあいまつりアトラクション	22	大佐中学校3年
10/19	ふれあいまつりアトラクション	1	田中フミヤ
10/19	ふれあいまつり	10	新見公立大学・短期大学
12/1	清掃ボランティア(IAソイル)	17	備中西地区郵便局長会

12/4	クリスマス会(手品&バルーンアート)	1	山上浩二
12/10	園芸ボランティア(冬の花の寄せ植え)	7	新見園芸福祉ボランティア
12/14	清掃ボランティア	30	家族会
合 計		258	

(5) 施設外研修

月/日	研修名・開催地
5/23	2019年度社会福祉法人経営者セミナー（岡山ロイヤルホテル）
6/18	平成31年度人事・労務管理研修（きらめきプラザ）
6/27、28	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（初任者コース）（きらめきプラザ）
7/5	岡山県福祉・介護職員合同入職式（津山鶴山ホテル）
7/7	日本語能力検定（岡山科学技術専門学校）
7/25	平成31年度岡山県介護支援専門員専門（就業者向け）研修（コンベックス岡山）
9/5	生活の場からみる拘縮ケアの実際（おかやま西川原プラザ別館）
9/10、11	平成31年度岡山県介護支援専門員専門（就業者向け）研修（おかやま西川原プラザ）
9/12	給食施設従事者研修会（備中県民局新見地域事務所）
9/16、17	平成31年度岡山県介護支援専門員専門（就業者向け）研修（おかやま西川原プラザ）
10/5	介護・福祉施設看護の魅力ー施設利用者に寄り添う看護とはー（津山中央病院）
10/6	日本人の食事摂取基準（2020年版）研修会（川崎医療福祉大学）
10/12	地域包括のための看護師交流会（新見公民館）
10/30	給食施設管理者研修会（備中県民局新見地域事務所）
11/5	けんこう長寿教室（まなび広場にいみ）
11/6	働き方改革関連法に関する説明会（オルガホール）
11/9	シュミレーショントレーニングin新見（新見公立大学）
11/14	介護認定審査会委員現任研修（グリーンヒルズ津山リージョンセンター）
11/15	令和元年度認定調査員現任研修（グリーンヒルズ津山リージョンセンター）
11/30	令和元年度岡山県看護協会新見支部研修会（新見公民館）
12/11	令和元年度介護技術向上研修（きらめきプラザ）
1～3月	令和元年度岡山県介護支援専門員更新研修（岡山コンベンションセンター他）

(6) 施設内研修

月/日	研修名
4/15	・ 「高齢者虐待と身体拘束」について
5/10	・ 「個人情報保護」について
6/13	・ 「事故防止」について
7/11	・ 「認知症ケア」について
8/14	・ 「清潔保持の介護」について
9/18	・ 「様々な場面から考える自立支援」について
10/14	・ 「身体拘束・事故防止」について
11/19	・ 「食事の介護」について
12/11	・ 「事故防止」について
1/23	・ 「排泄の介護」について

2/21	・ 「ポジショニング」について
3/19	・ 「口腔ケア」について

(7) 利用者状況（令和2年3月31日現在）

利用者人数	平均年齢
男性9名	男性82.4歳
女性40名	女性90.3歳
合計49名	平均88.7歳

(8) 介護度別人数（令和2年3月31日現在）

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均
人数	1	0	6	14	29	49	4.4

(9) 自立度別人数（令和2年3月31日現在）

認知症自立度	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
人数	1	0	3	6	8	6	8	18	50
日常生活自立度		J-2	A-1	A-2	B-1	B-2	C-1	C-2	合計
人数		0		2	8	20	3	17	50

3. 短期入所生活介護事業所

【サービス方針】

1. リスクマネジメントの充実を図り、事故防止に努めました。
2. 個人情報保護と守秘義務を厳守しました。
3. 介護サービスの質の向上に努めました。
4. 高齢者虐待防止法と身体拘束廃止を理解し人権を尊重したサービス提供に努めました。
5. 生活の中でのリハビリを中心に行うことで、身体機能維持に努めました。
6. 主治医を始め多職種連携による在宅生活の継続支援に努めました。

【看護】

1. 在宅生活における健康状態の把握に努め、健康で安全な生活の維持増進に努めました。入所時の健康チェックが治療につながることも多々ありました。
2. 多様な感染症の流行があるためマニュアルに沿って体調不良時は利用を中止していたが、施設への持ち込みによる蔓延を予防することが出来ました。
3. 体調が不安定な利用者も多く病院や薬局とも連携し対応しました。
4. リハビリの提供や医療度の高い利用者については、可能な限り調整に努めました。夜間の体調不良時はオンコール対応または看護師が出勤しました。緊急搬送についてもできるだけ職員が同乗し付き添うよう努めました。
- 5.

【介護】

1. 事故については、早朝における居室での転倒事故が2件ありました。事故後、委員会を開催し、事故検証及び再発防止策について検討を行いました。サービス担当者会議での情報収集やヒヤリハットの検証・対策が今後の課題です。
2. 居宅ケアマネ等との連携を強化し、情報収集を行いスムーズな受け入れに努めました。また、入所・退所の支援については、利用者及び家族の希望に沿って、随時利用の変更や緊急時の受け入れ等、柔軟に対応しました。
3. サービス担当者会議に出席し、アセスメントを行い、居宅サービス計画に沿った短期入所サービス計画を作成し、定期的にモニタリング等を行い、個別ケアの充実に努めました。
4. 職員研修については、新人や中堅職員に福祉職員キャリアパス対応生涯研修へ参加してもらい、福祉職員に求められる能力の開発及びキャリアアップに努めました。
5. コミュニケーションについては、利用者それぞれに合った声掛けを行い、寄り添いや話の傾聴を行い、穏やかな生活が送れるように努めました。
6. リハビリについては、ケアプランに沿って看護職員が器具を使用した訓練を実施した他、介護員により生活リハビリを行い、身体機能の維持に努めました。
7. 多職種連携により、個々のニーズや状態に合ったサービス提供に努めました。また、利用者のみでなく、家族介護者のニーズも確認し、在宅での介護負担を軽減しながら、在宅生活が続けられるよう受け入れ調整や情報提供・介護方法等の助言を行いました。

【別表】

(1) 月別利用件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	55	58	62	63	58	52	62	63	59	54	53	49	688

介護予防	3	3	3	2	1	2	3	2	1	1	4	3	28
合 計	58	61	65	65	59	54	65	65	60	55	57	52	716

(2) 月別利用日数

(単位：日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	236	232	247	269	235	230	281	280	239	253	265	259	3026
介護予防	8	6	7	6	3	6	9	6	3	3	10	8	75
合 計	244	238	254	275	238	236	290	286	242	256	275	267	3101

※平均稼働率 70.6% (前年度 76.1%) $3101 \text{日} \div (12 \text{床} \times 366 \text{日}) \times 100$

(3) 施設外研修

月/日	研 修 名・開 催 地
6/27、28	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (初任者コース) (きらめきプラザ)
7/2、3	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (中堅コース) (きらめきプラザ)

4. おおさ苑グループホーム

【サービス方針】

1. 利用者の人格・人権・プライバシーを尊重し、一人一人に寄り添って安心と生きがいを持てる温かいケアに努めました。
2. 介護計画に基づいた総合的な援助については、個々のライフワークの継続性を尊重し、利用者及び家族介護者・介護支援専門員等からの情報を収集し、ニーズと実情に添った適切な介護計画を策定しサービスを行いました。
3. 各種リハビリの実施や、生活の中での家事作業等を充実させる事で、利用者の今ある力の維持と向上に努めると共に、生きがいを持って生活出来る様に努めました。
4. 利用者・家族に対し、サービスの内容を正しく情報提供し、理解と協力を得ながら連携したサービスを行い、苦情や相談を気軽に受けられる体制作りを努めました。
5. 利用者の個別事故防止マニュアルを作成して実施すると共に、日々の体調や動作から事故のリスクを把握して、随時対応策を検討する事で事故防止に努めました。
6. 利用者の高齢化と重度化に対応するため、医療看護体制を充実し医療機関・家族介護者等関係機関との連携を図りながら心身の健康維持に努めました。

【事務】

1. 防災対策事業については、法人内の各事業所との連携を図り、新見消防署立会の下に指導を受け、5月と9月に夜間の防災訓練を合同で実施しました。また、グループホーム単独により5月と10月に避難訓練と自然災害訓練を行い、職員・利用者の防災意識を高めることに努めました。
2. 建物の維持管理を行い、快適な生活空間の確保に努めました。
3. 職員研修事業については、個々の職員の年間研修計画を立て、外部研修への参加や施設内研修を積極的に行いました。
4. 親睦会への助成など職員の福利厚生に努めました。
5. 年間の行事計画を作成して、一年を通して様々な行事を実施しました。
6. 実習生の受入については、新見公立大学老年看護実習と順正高等看護福祉専門学校介護実習の受入れを行いました。

【食事】

1. 食事援助については、食材のみを外部委託して、調理はホームにて利用者と一緒にしています。また委託業者からのメニューだけでなく、随時季節の食材や利用者好みのメニューも取り入れて提供しました。
2. 各行事や誕生会等には、お楽しみメニューや手作りおやつを利用者と共に考え、一緒に調理して楽しみました。
3. 非常時の食事提供体制を整え、非常食の備蓄と緊急時の対応を特養との連携により確保しました。

【訓練】

1. 個人の状態に合わせたADL及びIADL訓練を計画的に行いました(散歩による歩行訓練・体操・脳トレ・各種リハビリ・レクリエーション、掃除・洗濯物畳み・調理等)。
2. 季節の行事活動や趣味娯楽活動を実施して活動的で楽しみのある生活支援に努めました(塗り絵・カラオケ・ちぎり絵・各種ゲーム・ドライブ・ショッピング・料理・DVD鑑賞等)。

【看護】

1. 健康で安全な生活を維持する為、配置看護師による毎日の状態観察とバイタルチェック、服薬介助や通院支援を行い、異常の早期発見・早期治療に努めました。
2. かかりつけ医や専門医と連携し、予防的援助、慢性疾患対策、急性期の対応に努めました。緊急時には医師の指示に基づき救急車要請等の対応を行いました。
3. 医師や看護師からアドバイスを受けてリハビリを実施し、心身機能の重度化を防止し認知症状の緩和に努めました。
4. 感染症マニュアルに基づき、各種感染症の予防に努めました。(手洗い・消毒・うがい・口腔ケアの充実)

【介護】

1. 日常生活の自立を促進し、今ある力を活かした介護に努めました。
2. 心身の活性化が図れる様に、生活の中で各種リハビリや余暇活動を行いました。
3. 利用者とのコミュニケーションを多く図り、穏やかに安心して暮らしたる暮らしを支援しました。
4. 排泄については、個別の排泄パターンを把握して、さり気ない対応を行い自尊心や羞恥心・プライバシーに配慮した排泄ケアに努めました。
5. 食事中の見守りと声掛けを行い、楽しい雰囲気の中で安全に食事が提供できるように配慮しました。
6. 入浴については、その日の体調や気分・意向を考慮して、個々に合わせた入浴方法で心身のリフレッシュと清潔保持に努めました。
7. 整容については、毎日本人に衣類を選んでもらい、清潔に身なりを整えておしゃれを楽しみました。また、訪問理美容・行きつけの美容院での散髪や毛染め等、本人の希望に添った支援に努めました。
8. 個々の心身の能力に合わせた家事作業や趣味活動を行う事で、その人らしいメリハリのある活動支援に努めました。
9. 地域住民との日常交流については、ボランティアの受け入れ等を積極的に行い、多くの方が訪問し触れ合う機会を設けました。また、地域行事への参加、近所や友人宅への外出、自宅への外出・外泊等、家族の協力を得ながらとじ込みりのない生活を支援しました。

【生活相談・苦情受付】

1. 相談援助については、利用者本人からの日々の相談・家族の面会時の相談を受け付けると共に、サービスアンケートを実施してニーズの把握と解決に向けた支援を行いました。

【清掃・洗濯】

1. 清掃員を配置して、施設内がいつも清潔で気持ち良い空間である為に清掃に力を入れました。また定期的に空調設備の清掃を行い、設備の維持保全に努めるほか、寝具はリースを利用する等、快適な室内環境の整備に努めました。
2. 洗濯物は着衣の清潔を保つことを第一に、綺麗に早く利用者の元へ届けました。

【運営推進会議】

1. 利用者代表・利用者家族・新見市・新見市地域包括支援センター・地域住民代表者等をもって構成し、2ヶ月に1回開催しました。

2. 会議において事業報告を行い委員の助言や評価を受けています。また互いの意見交換を行うことにより連携し、共に支え合い、より良いサービスに繋がる様に努めました。年に一回の委員の行事参加では8月のスイカ割りに参加していただき、利用者と一緒に楽しみました。

【別表】

(1) 年間行事

月	日	内 容	参加者				
			利用者	職員	家族	ボラ・他	合計
4	5~6	ショッピング&ドライブ (真庭方面)	6	5	0	0	11
	16	桜見物&故郷訪問 (町内)	3	1	0	0	4
	17~18	桜見物 (新庄村 凱旋桜)	6	5	0	0	11
5	2	ドライブ (有漢 石の風車)	4	2	0	0	6
	7	ドライブ (町内)	5	2	0	2	9
	14	春の遠足 (岡山 後楽園)	16	7	0	5	28
	22	夜間合同防災避難訓練 (大佐荘)	0	3	0	10	13
	30	消防避難訓練&自然災害訓練	9	7	0	0	16
	31	ショッピング&ドライブ (イオン津山)	8	5	0	0	13
6	20	ドライブ (町内)	5	3	0	1	9
	22	ミカミ衣動バザー (地域交流ホーム)	12	4	0	0	16
	25	室内運動会	17	9	0	0	26
7	1	茅の輪くぐり (大佐神社)	4	2	0	0	6
	27	納涼祭 (大佐荘・おおさ苑合同)	18	13	16	2	49
8	18	ドライブ (蒜山へスイカ購入)	4	3	0	0	7
	21	スイカ割り	17	10	2	2	31
9	11	夜間合同防災避難訓練 (おおさ苑)	0	4	0	8	12
	14	敬老会 (グループホームわが家合同)	17	10	10	0	37
	18~19	故郷訪問 (市内)	10	5	0	0	15
	19	実地指導 (新見市)	0	3	0	2	5
10	8	秋の遠足 (湯原足湯)	16	7	0	0	23
	19	ふれあい祭り	17	12	9	2	40
	31	消防避難訓練&自然災害訓練	13	8	0	0	21
11	8	外部評価 (One More Smile)	/	/	/	2	2
	8	どら焼き作り	18	7	0	0	25
	10	田治部祭り	16	4	0	0	20
	13	室内運動会	18	8	0	0	26
12	10	クリスマス会	17	12	0	0	29
1	8	新年祝賀会 (おおさ苑合同)	17	12	0	0	29
2	8	市内ドライブ	6	3	0	0	9
	12	故郷訪問	5	2	0	0	7
3	3	ひな祭り	15	7	0	0	22
	20	河津桜見物 (唐松)	8	3	0	0	11
合 計			327	188	37	36	588

(2) 施設外研修

月/日	研修名・開催地
6/2	平成31年度おやかま糖尿病サポーター認定研修会
7/8	避難確保計画に係る説明会
7/16	2019年度介護職人材育成研修 介護職プロフェッショナル養成研修
7/24・8/1・2・25・26	令和元年度 介護支援専門員更新研修
8/16	認知症サポーター養成にかかるキャラバンメイト養成研修
8/23・30・10/11・25・11/1 15・12/13・27・1/17・31	喀痰吸引等研修
9/8・16・22・23・29・12/1	2019年度 認知症介護実践研修
9/27・10/3・4・15・22・23 11/13・14	令和元年度 主任介護支援専門員更新研修
9/6	2019年度介護職人材育成研修 介護職ファーストステップ研修
11/20	令和元年度 第10回新見公立大学看護学セミナー「災害看護の今を知る」
12/8	第5回おかやま介護グランプリ
12/17	令和元年度 新見市GH・小規模多機能ホーム連絡会議 第2回定例会 成年後見制度と高齢者虐待について
1/15	高梁・新見地域認知症疾患医療連携協議会 第1回協議会研修会
1/30	第13回介護実践研究発表会

(3) 施設内研修

月/日	研 修 名	参加者
4/25	誤薬防止について	9
5/23	救急講習	4
5/24	高齢者虐待防止について	7
6/26	身体拘束等適正化研修	8
7/25	熱中症予防について	8
8/17	高齢者虐待防止と権利擁護について	8
9/27	利用者のプライバシーについて	8
10/30	苦情対応について	8
11/7	新見地域医療ネットワーク出前講座「認知症の方への対応」	3
11/28	施設における感染症対策について	7
12/18	おむつの当て方勉強会	4
12/26	身体拘束等適正化研修	9
1/27	認知症ケアについて	8
2/28	介護事故防止について	9
3/28	高齢者虐待防止について	9
合 計		109

(4) 会議実施状況（運営推進会議 年6回 偶数月第3水曜日開催）

月/日	会 議 内 容	参加人数
4/13	家族会総会 平成30年事業報告、平成30年アンケート結果報告、平成31年度事業計画 職員体制の説明、実習生受入の説明、家族との意見交換	12

4/17	第1回運営推進会議 事業実施状況報告、行事報告、処遇事例報告、平成30年事業報告、平成31年度事業計画、職員体制の説明、委員による評価、助言、意見交換	9
4/25	ケア会議 利用者状況、事業状況	9
4/25	第1回身体拘束等適正化委員会	9
5/24	ケア会議 利用者状況、事業状況	7
6/19	第2回運営推進会議 事業実施状況報告、行事報告、処遇事例報告、委員による評価、助言、意見交換	8
6/26	ケア会議 利用者状況、事業状況	8
7/25	ケア会議 利用者状況、事業状況	8
7/25	第2回身体拘束等適正化委員会	8
8/17	ケア会議 利用者状況、事業状況	8
8/21	第3回運営推進会議（スイカ割りに参加） 事業実施状況報告、行事報告、処遇事例報告、委員による評価、助言、意見交換	8
9/27	ケア会議 利用者状況、事業状況	8
10/16	第4回運営推進会議 事業実施状況報告、行事報告、処遇事例報告、委員による評価、助言、意見交換	7
10/30	ケア会議 利用者状況、事業状況	8
10/30	第3回身体拘束適正化委員会	8
11/28	ケア会議 利用者状況、事業状況	7
12/16	第5回運営推進会議 事業実施状況報告、行事報告、処遇事例報告、委員による評価、助言、意見交換	8
12/26	ケア会議 利用者状況、事業状況	9
1/27	ケア会議 利用者状況、事業状況	8
1/27	第4回身体拘束等適正化委員会	8
2/19	第6回運営推進会議 事業実施状況報告、行事報告、処遇事例報告、委員による評価、助言、意見交換	8
2/28	ケア会議 利用者状況、事業状況	9
3/28	ケア会議 利用者状況、事業状況	9
合 計		191

(5) 老年看護・介護実習受入状況

学 校 名	期 間	延べ人数	担当者
新見公立大学看護科老年看護実習	5月7日(火)～5月16日(木) 7月8日(月)～7月18日(木) 10月7日(月)～10月17日(木) 12月2日(月)～12月12日(木)	149人	福島和美 磯田明枝 生原裕子
順正高等看護福祉専門学校介護実習	6月18日(火)・20日(木)	3人	廣瀬裕介 宮田兼行

(6) ボランティア受入状況

月/日	活 動 内 容	人数	個人または団体名
6/13	寄せ植え	8	新見園芸福祉ボランティア
7/10	刑部小学校6年生との交流会	18	刑部小学校
9/27	大佐中学校3年生との交流会	6	大佐中学校
11/7	ボックスフラワー作り	7	新見園芸福祉ボランティア
合 計		39	

(7) 利用者状況

介護度	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均	GH 平均
なごみの家	0	1	0	6	2	0	3	3.2
まどか	0	0	1	3	1	2	3.4	

年齢(歳)	60代	70代	80代	90代	平均年齢	最少年齢	最高年齢	GH 平均
なごみの家	0	0	5	4	89.6	82	97	87.7
まどか	0	1	6	2	85.8	73	99	

(8) 通院状況

合計	341 件
----	-------

(9) 入院状況

合計	10 件	延べ日数	161 日
----	------	------	-------

(10) 入居・退居状況

合計	退居	3 人	入居	3 人
----	----	-----	----	-----

(11) 面会・外出・外泊状況

面会	外出	外泊
268	11	45

5. グループホームわが家

【サービス方針】

1. グループホームに入居してからも、安心・安全・生きがいのある生活が送れるよう、家族と協力しながら支援しました。また、家族へのアンケートの回答に、外泊時の注意点や、行事などできる範囲で手伝いたいなどの要望もあり、引き続き連携を図っていきます。
2. 利用者の人格・人権・プライバシーについては、年4回の身体拘束廃止委員会にて話し合いの場を設け、指針に基づいたプログラムにて研修を行いました。開設以来身体拘束及び虐待はゼロを維持しています。
3. 地域交流については、隣接する大佐認定こども園との交流会や地元の行事、施設内行事にボランティアの来居があり共に支援することで、地域の一員として生活が送れるよう努めました。
4. 個別援助計画については、アセスメント・モニタリング・要望等を基に、半年ごと見直しを行いました。入院等で状態に大きな変化があった場合には、新たな課題を探り支援策を検討しました。
5. 食事・排泄・入浴支援については、自立した生活が送れるよう、できる能力を生かし、待つ・あせらせない支援を丁寧に行いました。
6. リスクマネジメントについては、保険者に報告する事故はありませんでしたが、ヒヤリハットを検証し事故防止に努めました。
7. サービスの質の向上を図るため、専門機関による外部評価・自己評価を公表しました。利用者の自立支援をサポートしながら余暇時間の活性化を図り、職員のレクリエーション能力の向上に向けて目標を立て、引き続き取り組んでいきます。

【事務】

1. 建物の設備や備品の維持に関しては、必要物品購入の検討を行い建物設備の保全に努めました。
2. 年間行事計画に沿って利用者が楽しみを持てるよう行事を実施しました。（表(1)参照）
3. 職員の資質向上を目指し、内部・外部研修に参加しました。（表(2)(3)参照）
4. 防災活動事業では、7月16日と11月19日に消防訓練を実施しました。また、消防署の査察を受け防災物品の整備を行いました。避難経路表においても避難場所を記入し掲示しました。
5. 新見公立大学地域福祉学科からの実習生受入を行いました。また、行事の際に地域からのボランティアを受け入れ交流が図れました。

【食事】

1. 食事援助については、食べることの喜びを感じてもらうため、嗜好を把握し提供しました。
2. 季節を感じてもらうため旬の食材を調達し、家庭料理を提供する機会を設けました。
3. 特養の管理栄養士の協力で料理教室を開催しました。また、料理クラブやおやつクラブにて作る喜びを感じてもらいました。食欲低下時は栄養不足にならないよう代替品や盛り付けを工夫し食欲増進に努めました。
4. 非常時の備蓄食の確保・管理に努め、災害時の食事提供体制を整備しました。

【訓練】

1. 家事作業（掃除・洗濯・調理）や各種体操等を行い、生活機能低下防止に努めました。
2. 毎月の季節行事やクラブ活動、日光浴等を通し活動の機会を設けました。

【看護】

1. 毎日のバイタル測定、排泄・食事量等の把握を行い異常の早期発見に努めました。
2. 毎月かかりつけ医・専門医と連携し定期通院支援にて健康管理を行い、予防的入院を含め入退院支援を行いました。
3. 心身機能の重度化に対しては、できる限りホームでの生活が継続できるよう、かかりつけ医や病院関係者等と連携し支援しました。退所者は2名ありました。
4. 感染症予防については、新見市や厚生労働省の指導の下、関連事業所と連携し感染症拡大防止に努めました。

【介護】

1. 日常生活の自立に関しては、自分で選択し希望に沿った生活ができるよう努めました。
2. 職員は認知症という病気を理解し、認知症により不安や混乱があっても優しく関わるように努めました。
3. 利用者的人格・人権を守り、人生の先輩として敬意を持って関わり、安心・安全・笑顔のある生活を支えました。
4. 排泄ケアについては、個々の排泄パターンやその日の状況を把握し、さりげない声掛けで自尊心が傷つかないように配慮したケアを行いました。
5. 食事については、和やかな雰囲気の中で食事が食べられるよう工夫し、食事内容などを写真で家族に伝え情報提供をしました。
6. 入浴については、心身のリフレッシュ・清潔保持に努め、入りたいタイミングを見計らい支援しました。また、身体機能に応じてリフト浴から自分で浴槽に入れるよう支援も行いました。
7. 余暇活動については、孤独にならないよう利用者個々の能力に合った方法でコミュニケーションを図り活動の支援を行いました。今後もメリハリのある活動を計画していきます。
8. 高齢者の権利擁護については、身体拘束廃止委員会や高齢者虐待防止の研修会を通し専門性を深めました。また、成年後見制度活用についても支援しました。
9. 地域交流等に関しては、ホームに地域の方を招き、気軽に立ち寄ることができる雰囲気作りに努めました。

【生活相談・苦情受付】

苦情相談については、第三者委員による相談の実施や意見箱の設置、日常の苦情・要望・相談を気軽に受けられるよう配慮しましたが、苦情等はありませんでした。

【清掃・洗濯】

1. もみの木を使用した自然木設備を生かし、いつも清潔で気持ちのいい空間であるよう環境美化に努めました。
2. クリーンマスの清掃日を毎月決め、保守に努めました。
3. グリル・換気扇の清掃を毎月行い、清潔保持に努めました。
4. 衣類のポケットの確認や洗濯表示に従い適切な洗濯を行いました。

【運営推進会議】

1. 運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、委員からの助言を頂きました。会議での意見交換を基にサービスの向上に努めました。

【別表】

(1) 年間行事

(単位：人)

月	日	内 容	参加者			
			利用者	職員	家族	ボラ・他
4	5	外出（勝山・久世方面へ桜見物）	9	4	0	0
	48	外出（富原方面へ桜見物）	4	1	0	0
	24	春の遠足（大佐サービスエリアにて外食）	7	5	7	0
5	18	バーベキュー大会・家族会	9	6	10	0
	22	夜間合同防災訓練	0	2	0	0
6	6	大佐認定こども園交流会	8	4	0	0
	13	管理栄養士による料理教室	9	5	0	1
7	16	防災教室、避難訓練（水消火器）	8	5	0	2
	27	恵愛会納涼祭	0	4	0	0
8	9	ミニ夏祭り	9	4	0	6
9	11	夜間合同防災訓練	0	5	0	0
	19	おおさ苑 GH・わが家合同敬老会	9	9	5	1
10	10	ドライブ（北房方面）	9	5	0	0
	19	ふれあいまつり	9	6	1	0
11	5	秋のドライブ（きびじつるの里）	8	5	0	1
	19	防災避難訓練	9	3	0	2
	20	地域交流会（炭で作るリースと茶話会）	9	5	0	6
12	11	大佐認定子ども園交流会	9	4	0	70
	23	クリスマス会	9	4	0	7
	29	しめ縄飾り作り	8	4	0	1
	31	おせち料理作り	9	3	0	1
1	9	わが家新年会	9	5	0	0
	15	とんど焼き	9	4	0	1
2	5	節分行事	8	4	0	0
3	3	ひなまつり（料理教室）	8	5	0	0

(2) 施設外研修

月/日	研修名・開催地	参加者
5/30・31	甲種防火管理新規講習（岡山商工会議所）	1
6/6	新任職員のための虐待防止・権利擁護の理解と実践（きらめきプラザ）	1
7/24、30、31、 8/8、9	介護支援専門員更新研修 専門研修過程II（おがやま西河原プラザ）	1
8/16	キャラバン・メイト養成研修（きらめきプラザ）	1
10/4	リスクマネジメント研修（きらめきプラザ）	1
11/4	市民研修会 認知症について考えよう（まなび広場いみ）	2

(3) 施設内研修

月/日	研 修 名	参加人数
4/25	・高齢者虐待防止及び身体拘束禁止について	9
5/16	・個人情報保護について	9
5/23	・心肺蘇生法	9
5/24	・食中毒について	9
6/20	・事故防止について	9
6/27	・リスクマネジメント 施設内研修	9
7/8	・災害対策について	9
8/5, 6, 7, 10, 17, 19, 23	・職員倫理規程について	9
8/29	・苦情対応について	9
9/19	・事故防止対応マニュアルについて	9
9/30	・高齢者の権利擁護とプライバシーについて	9
10/18	・事故防止（誤薬予防）	9
10/19	・感染症蔓延防止について	9
11/9	・認知症ケアと不適切なケアについて	9
11/21	・食事の介護について	9
12/3	・出前講座「感染予防と安全管理」について	9
12/19	・転倒・転落防止について	9
12/30	・緊急時の対応について	9
1/24	・排泄ケアにおける清潔ケアについて	9
1/28	・地域資源との協働（認知症サポーター養成講座）	9
2/26	・薬と健康について	9
2/27	・「ポジショニング」「セクシャルハラスメント」について	9
3/27	・介護技術の向上について	9

(4) 運営推進会議実施状況（年6回 偶数月 第4水曜日開催）

月/日	会 議 内 容	参加人数
4/24	事業実施状況報告、行事報告、平成31年度事業計画、消防計画、身体拘束ゼロの維持の報告、職員体制の説明、委員による評価、助言、意見交換	9
6/26	事業実施状況報告、行事報告、処遇事例報告、身体拘束ゼロ維持の報告 委員による評価、助言、意見交換	11
8/28	事業実施状況報告、行事報告、処遇事例報告、身体拘束ゼロ維持の報告 委員による評価、助言、意見交換	11
10/23	事業実施状況報告、行事報告、処遇事例報告、身体拘束ゼロ維持の報告 委員による評価、助言、意見交換	10
12/25	事業実施状況報告、行事報告、処遇事例報告、身体拘束ゼロ維持の報告 家族アンケート集計結果報告、委員による評価、助言、意見交換	8
2/26	事業実施状況報告、行事報告、処遇事例報告、身体拘束ゼロ維持の報告 委員による評価、助言、意見交換	7

(5) 身体拘束廃止委員会（年4回開催）

4/23	身体拘束廃止マニュアルについて	9
6/19	委員会の委員の役割、声掛けについて	9
9/27	身体拘束ゼロへの手引きを基に研修	9
11/12	身体拘束をしないケアの取り組み	9
12/16	身体拘束適正化のための指針に基づいた研修	9
2/19	身体拘束適正化のための指針に基づいた研修	9

(6) 要介護度

介護度	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均
人数	0	2	2	2	2	1	2.8

(7) 平均年齢

年齢	70代	80代	90代	平均年齢	最少年齢	最高年齢
人数	1	6	2	84.7	71	93

6. 小規模多機能ホームわきあいあい

【サービス方針】

1. 利用者が地域社会の一員としての暮らしが継続できるよう、地域の活動や行事に積極的に参加し、地域住民との触れ合いを大切にしました。又、認知症カフェ事業に取り組み、老若男女誰もが和やかに集える場を開設し、利用者も参加し交流することが出来ました。
2. 個別サービス計画については、介護支援専門員が中心となり、利用者の心身の状況や家族を取り巻く環境の変化を踏まえ、介護職員や看護職員等の多職種協働により、随時適切に見直しを行ない評価しました。又、福祉用具貸与品を活用することで生活環境を整え、いつまでも住み慣れた自宅で過ごせるよう支援しました。
3. 利用者及び家族に対し、サービスの内容を正しく説明し、理解と協力のもとに連携を図り、苦情や相談を気軽に受けられる体制づくりを行いました。サービスアンケートを実施しご意見・ご要望を聞きサービスの充実に努めました。
4. 個々の心身状況及びニーズに応じた「通い」「訪問」「宿泊」の柔軟な受け入れを実施しました。又、昼食、夕食の配食サービスや通院時の送迎など臨機応変な対応に努めました。
5. 利用者の高齢化・重度化に対応するため、看護師を常勤で配置し、医療看護体制の充実に図り、心身の健康維持に努めましたが、長期入院、施設入所などで15名の契約終了がありました。
6. リスクマネジメントについては、ヒヤリハットを分析し転倒、誤薬等の事故防止に努め、事故報告は0件でした。
7. 高齢者虐待防止、身体拘束廃止、職員倫理規程等の研修参加や勉強会を実施することで、職員全員の意識づけを図り、利用者的人格・人権・プライバシーを尊重したサービスを行いました。

【事務】

1. 非常災害時の体制については、関係機関への通報及び連絡体制を整備し、定期的に職員に周知しました。7月、11月に消防訓練を実施しました。
2. 非常時の食事提供体制を整え、緊急時の対応の徹底と備蓄食の確保・管理に努めました。
3. 建物の維持管理に努め、快適な生活空間を確保できるよう努めました。
4. 施設内外への研修に積極的に参加するよう努めました。（別表(1)(2)）
5. 職員の福利厚生については、健康診断・腰痛検診・人間ドック等で職員の健康管理に努めました。又、ストレスチェックを行ない働きやすい職場づくりに努めました。
6. 認知症カフェ事業に取り組み地域住民の訪問やボランティアの受け入れを積極的に行いました。（別表4）
7. 年間の行事計画を作成し計画に沿った行事を実施しました。（別表(3)）
8. 新見公立大学地域福祉学科の福祉サービス入門実習の受け入れ、順正高等看護福祉専門学校の介護現場実習の受入を行ないました。

【給食】

1. 食事については、出来るだけ利用者の意見を取り入れながら献立をたて、利用者が調理に参加できるよう配慮しました。
2. 施設の菜園で栽培した旬の食材を使い、家庭的な料理が温かい雰囲気の中で味わえ

るように努めました。又、個々の体調・咀嚼・嚥下状態に応じた食事を提供し適宜見守りや介助を行いました。

【訓練】

ADL及びIADL動作に関する訓練を行いました。（散歩・体操・各種リハビリ・掃除・洗濯物畳・調理準備・レクリエーション等）又、行事活動・趣味娯楽活動等（手芸・カラオケ・塗り絵・各種ゲーム・遠足・ドライブ・ショッピング・料理・DVD鑑賞等）個々の能力に応じた訓練を行いました。

【看護】

1. 日常の健康チェックを行い、かかりつけ医、家族介護者、ケアマネジャー等と連携し異常の早期発見・早期治療に努め、重症化の予防に努めました。
2. 心身機能の重度化・認知症状の緩和と予防の為、利用者個々の能力に応じた対応に努めました。
3. 利用者の急変時にすぐ対応できるよう、緊急マニュアルに沿った研修や日頃の身体状況の把握に努めました。
4. 感染症の予防に努めました。（手洗い・うがいの徹底、ちらし等による予防喚起等）

【介護】

1. 排泄については、プライバシーを考慮し、個々の動作能力に応じた介助及び見守りを行い自立支援に努めました。又、入浴については、利用者の希望を重視しプライバシーを配慮しながら見守りや介助を行い、ゆっくりとリラックスできる支援を行いました。整容については、希望により訪問理美容の利用や、家族の協力により美容院へ出向くなど整髪支援や、清潔な衣類の着用等の支援を行いました。
2. 安心・安全なサービスの提供を心がけ事故防止に努め、事故報告は0件でした。
3. 人権擁護と虐待防止の意識徹底に努めました。
4. 明るくさわやかな挨拶を心がけ、利用者をはじめ家族介護者が気持ち良く利用していただけるよう接遇教育の徹底を図りました。
5. 多職種協働によるチームワークを大切にし、一人ひとりの利用者に対して皆で支え、安心した生活が送れるよう支援しました。

【生活相談・苦情受付】

苦情・要望・相談受付の体制を整え、早急な対応に努めました。特に要望については、行事やプラン作成時以外にも随時受け付けの機会を設け、ニーズの把握に努め柔軟な対応を心がけました。又、サービスに対するアンケート調査を行ない、利用者・家族の満足度の把握に努めました。

【清掃】

毎日の清掃により、設備・車両の清潔を保つとともに、感染症予防の為施設内や車両内の清掃・除菌に努めました。又、エアコン及びエアコンフィルター・換気扇・加湿器の掃除・クリーンマスの掃除等も定期的に行いました。

【運営推進会議】

1. 利用者代表・利用者家族・新見市・新見市地域包括支援センター・地域住民代表者・施設職員等で構成した運営推進会議を2ヶ月に1回開催しました。会議におい

て事業報告等を行ない、委員の助言や評価を受けました。また、意見交換を行い、共に支えあい、より良いサービスに繋げていくよう努めました。

2. 運営推進会議で外部評価を実施しました。外部評価においては、「できている」「できていない」という評価だけでなく、事業所自己評価を報告検討し、課題の解決に向けた具体的な行動について共に考え、意見を頂くことが出来ました。
運営推進会議実施状況（別表(5)）

【別表】

(1) 施設外研修

月/日	研修名・開催地	参加者
6/25	ストレスマネジメントとコミュニケーションスキル研修（くらしき山陽/イツ）	2名
7/23	認知症キャラバン・メイト連絡会（新見市役所南庁舎）	1名
8/5	中堅職員重点テーマ強化研修（きらめきプラザ）	1名
8/22	レクリエーションワークの必要性について（北ひろあひセンター）	1名
8/5～23日の 内の10日間	職員倫理規定についての研修（おおさ苑）	全職員
9/5	介護福祉士実習指導者フォローアップ研修会（きらめきプラザ）	1名
9/9～9/10	高齢者虐待防止研修（きらめきプラザ）	1名
9/20	クレーム対応研修（きらめきプラザ）	1名
10/4	リスクマネジメント研修（きらめきプラザ）	1名
10/4	介護・福祉施設看護の魅力～施設利用者により看護とは～	1名
11/4	市民研修会「認知症について考えよう」（まなび広場）	2名
12/3	岡山県認知症介護基礎研修（きらめきプラザ）	1名
12/3	新見地域医療ネットワーク出前講座（感染予防、安全管理）	10名
1/15	高梁・新見地域認知症疾患医療連携協議会第1回研修会（まなび広場）	1名

(2) 施設内研修

(単位：人)

月/日	研修名	参加人数
4/19、22、26	・ 食中毒対策について・高齢者虐待と身体拘束について	15
5/21、25、28	・ 救命救急蘇生について・個人情報保護について	15
6/21、25、28	・ ターミナルケアと医療的ケアについて・事故防止について	15
7/19、24、30	・ 褥瘡予防について・認知症ケアについて	15
8/16、23、27	・ 転倒予防と骨折について・清潔保持の介護について	15
9/20、23、27	・ 事故防止について・様々な場面から考える自立支援について	15
10/18、22、29	・ ノロウイルスについて・身体拘束、事故防止について	15
11/22、26、29	・ インフルエンザについて・食事の介護について	15
12/20、24、27	・ ターミナルケアについて・事故防止について	15
1/17、21、24	・ 心筋梗塞と高血圧症について ・ 排泄ケアにおける清潔ケアについて	15
2/25、28	・ 糖尿病と腎機能障害について・ポジショニングについて	15
3/22、26	・ 結核について・口腔ケアについて	15

(3) 行事实施状況

月	日	行事	実施場所	利用者	職員	その他
4	6	散歩	わきあいあい周辺	9	5	0

	10	花見会	おおさ苑地域交流ホーム	10	9	0
	13	外出(春の草木展見物)	おおさ総合センター	9	3	0
	16	外出(桜、石佛見物)	田治部本誓寺	10	4	0
	27	認知症カフェ ・認知症の理解についての話 ・介護相談・茶話会	わきあいあい交流サロン 及び食堂ホール	13	9	8
5	5	地域イベントへの参加	大井野清流しゃくなげ祭り	8	6	0
	16	外出(外食、ショッピング)	大佐サービスエリア上り線	10	8	0
	25	認知症カフェ ・レクリエーション ・介護相談・茶話会	わきあいあい交流サロン 及び食堂ホール	13	8	18
6	6.7	端午の節句	わきあいあい交流サロン 及び食堂ホール	13	10	0
	9	外出(草木展)	大佐総合センター	6	4	0
	22	ミカミ衣動バザール	おおさ苑	5	4	0
	14	大佐地区歌声大会観賞	大佐総合センター	11	5	0
	29	認知症カフェ ・折り紙、ハーモニカ演奏、歌 読み聞かせ他 ・介護相談・茶話会	わきあいあい交流サロン 及び食堂ホール	11	9	19
7	1	外出(茅の輪くぐり)	大佐神社	7	5	0
7	3	七夕会	わきあいあい食堂ホール 及び交流サロン	12	10	0
	16	消防訓練	わきあいあい	13	6	2
	20	認知症カフェ ・リボンアート ・介護相談・茶話会	わきあいあい食堂ホール 及び交流サロン	13	7	12
8	7	認知症カフェ ・バーベキュー祭り・介護相談	わきあいあい食堂ホール 及び交流サロン	20	13	24
9	13	敬老行事	わきあいあい食堂ホール 及び交流サロン	22	11	2
	27	大佐中学校3年生総合学習交流	わきあいあい食堂ホール 及び交流サロン	12	6	16
	28	認知症カフェ ・フルート演奏及びピアノ演奏 ・歌・介護相談・茶話会	わきあいあい食堂ホール 及び交流サロン	14	8	10
10	5	大佐認定こども園運動会見物	大佐認定こども園	10	3	0
	7	刑部小学校町探検インタビュー	わきあいあい食堂ホール	13	6	5
	9	小坂部秋祭り 浦安の舞見物	刑部駅前	4	2	0
	26	認知症カフェ ・レクリエーション ・介護相談・茶話会	わきあいあい食堂ホール 及び交流サロン	16	9	15
11	2	ミカミ衣動バザール	おおさ苑	1	1	0
	3	おおさ風祭り	大佐総合センター	8	4	0
	7	紅葉見物 外食 ショッピング	井倉洞 ジョイフル サンパーク新見店	10	10	0

	18	干し柿作り	わきあいあい食堂ホール	5	1	0
	19	防災訓練	わきあいあい	7	5	0
	23	認知症カフェ ・家庭でできる介護食 ・介護相談・茶話会	わきあいあい食堂ホール 及び地域交流サロン	15	8	16
	26	室内運動会 大佐認定こども園児との交流	わきあいあい食堂ホール 及び交流サロン	14	10	36
12	7	認知症カフェ ・健康教育「狭心症の予防」 レクリエーション ・介護相談・茶話会	わきあいあい食堂ホール 及び交流サロン	16	8	19
	11	大佐認定こども園ミニ発表会	大佐認定こども園	9	5	0
	18	クリスマス会	わきあいあい食堂ホール 及び交流サロン	13	11	0
1	10	新年を祝う会	わきあいあい食堂ホール 及び交流サロン	10	12	0
	15	とんど焼き（わが家）	わきあいあい、わが家 駐車場	3	1	0
2	8	節分祭	食堂ホール	13	8	0
	22. 23	大佐文化の祭典へ出展のみ	大佐総合センター	0	2	0
3	2	ひな祭り	食堂ホール	11	6	0

(4) ボランティアの受け入れ状況

月/日	活動内容	延べ人数	個人または団体名
5/25	レクリエーション他（認知症カフェ） 認知症カフェ茶話会準備	7	新見公立大学健康科学部学生外
6/29	折り紙、ハーモニカ演奏（認知症カフェ） 認知症カフェ茶話会準備	6	個人
7/20	リボンアート作り（認知症カフェ） 認知症カフェ茶話会準備	2	個人
8/7	バーベキュー祭り（認知症カフェ）	4	個人
9/28	フルーツ演奏、ピアノ演奏（認知症カフェ） 認知症カフェ茶話会準備	2	個人
9/28	総合学習ボランティア （ダンス、ゲーム他）	7	大佐中学校3年生、引率教諭
10/26	レクリエーション（認知症カフェ） 認知症カフェ茶話会準備	2	個人
11/23	家庭でできる介護食（認知症カフェ） 認知症カフェ茶話会準備	1	個人
12/7	健康教室及びレクリエーション（認知症カフェ）	7	新見公立大学健康科学部学生外

(5) 運営推進会議実施状況（年6回 偶数月第4水曜日開催）

月/日	会議内容	参加人数
4/24	事業実施状況報告、行事報告、行事予定、利用者状況及び処遇事例、平成30年度事業報告、平成31年度事業計画、職員体制、消防計画説明、介護保険課及び地域包括支援センターより、委員による評価、助言、意見交換	9
6/26	事業実施状況報告、行事報告、行事予定、利用者状況及び処遇事例、新見市介護保険課及び地域包括支援センターより、委員による評価、助言、意見交換	11

8/28	事業実施状況報告、行事報告、行事予定、利用者状況及び処遇事例、自己評価及び外部評価について説明、新見市介護保険課及び地域包括支援センターより、委員による評価、助言、意見交換	11
10/23	事業実施状況報告、行事報告、行事予定、利用者状況及び処遇事例、介護報酬改定について説明、新見市実地指導結果報告、新見市介護保険課及び地域包括支援センターより、委員による評価、助言、意見交換 外部評価	10
12/25	事業実施状況報告、行事報告、行事予定、利用者状況及び処遇事例、新見市介護保険課及び地域包括支援センターより、委員による評価、助言、意見交換 サービス評価まとめ結果報告、評価確定	8
2/26	事業実施状況報告、行事報告、行事予定、利用者状況及び処遇事例、新見市介護保険課及び地域包括支援センターより、委員による評価、助言、意見交換 平成31年度サービスアンケート集計結果報告	7

(6) 利用者状況 (令和2年3月31日現在)

利用者人数	平均年齢
男性3名	男性86.0歳
女性21名	女性88.2歳
合計24名	男女平均87.9歳

(7) 介護度別利用者数

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	3	4	6	8	1	2	0	24

(8) 月間利用状況集計

月	通 い							通い	訪問	宿泊
	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5			
H31.4	5	28	116	96	33	82	0	360	85	180
R1.5	6	34	128	82	34	85	0	369	82	198
6	4	25	144	78	36	75	0	362	77	195
7	6	32	117	104	75	62	0	396	81	208
8	12	25	114	103	67	81	0	402	94	210
9	11	26	93	127	64	62	0	383	95	204
10	9	29	101	147	53	54	0	393	111	211
11	6	27	105	168	52	50	0	408	91	237
12	10	23	88	170	31	40	17	379	124	192
R2.1	11	23	105	155	32	32	0	358	130	197
2	11	24	102	158	24	51	0	370	127	185
3	11	25	111	144	28	55	0	374	142	184
合計	102	321	1,324	1,532	529	729	17	4,554	1,239	2,401

7. 通所介護事業所

【サービス方針】

1. 適切なリスクマネジメント、事故防止に努めましたが、1件の介護事故が発生しました。事故の原因、状況等を検証し、今後の安全・安心なサービス提供に生かします。
2. 利用者的人格・人権・プライバシーを尊重し『笑顔で挨拶』『懇切丁寧な対応』に努めることが出来ました。
3. 適度な運動や介護予防訓練を積極的に実施し、重度化の防止に努めることが出来ました。

【訓練】

1. 利用者個々に合わせた機能訓練を計画実施し、心身機能の維持向上に努めました。
2. 利用者が好む活動や状態に合った運動を適度に取り入れる事により、プログラムに変化を持たせ、楽しく運動やリハビリが実施できるように取り組みました。

【生活相談・苦情受付】

1. 相談窓口や苦情受付ボックスの設置、苦情解決体制を整備し、日常的に苦情・要望・相談を受けられるように努めましたが、今年度は苦情はありませんでした。
2. 利用者や利用者家族から聞き取りを行い情報収集に努めることが出来ました。
3. 地域包括支援センターとの連携により適切な対応に努めました。

【清掃】

1. 感染防止のため年間を通じて施設内や車両内の清掃・除菌に努めることが出来ました。
2. 日々の清掃と定期的な大掃除により建物設備、車両の保清に努めました。

【別表】

(1) 年間利用者

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
男性	4	6	22	15	8	3	1	59
女性	41	33	32	21	15	6	6	154
計	45	39	54	36	23	9	7	213

※要支援1及び要支援2には事業対象者も含まれています。

(2) 利用状況(月別)

単位：人

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計	営業日数
4月	60	105	171	144	92	26	42	640	26
5月	70	94	192	159	76	29	54	674	27
6月	70	89	179	144	77	23	28	610	25
7月	58	99	176	181	65	33	39	651	27
8月	57	85	159	179	71	20	28	599	25
9月	54	95	190	153	67	25	37	621	25
10月	49	103	207	155	69	27	24	634	26
11月	67	86	201	155	59	28	14	610	26
12月	51	85	231	164	44	28	16	619	26

1月	61	85	207	177	43	19	17	609	25
2月	75	90	208	154	51	26	7	612	25
3月	54	77	224	136	59	21	8	592	26
計	726	1,093	2,345	1,901	773	305	314	7,457	309

※要支援1及び要支援2には事業対象者も含まれています。

(3) 主なサービスの状況

利用者数	サービス内容			
	入浴	食事	健康チェック	日常生活動作訓練
合計	5,176	7,470	7,470	7,470

(4) 年間行事・会議

月/日	行事	会議	参加状況
7/5・7/6・7/8～11・7/13	夏祭り	主任会議・職員会議	毎月
10/5・10/7～12	敬老会	デイ会議	毎月
11/16・11/23	おやつ作り	地域ケア会議専門部会	年間10回
11/30・12/7・12/16～20	忘年会		
3/7～14	ひな祭り		

(5) 施設外研修

月/日	研修名・開催地
7/8	避難確保計画に関わる説明会（サンロード吉備路コンベンションホール「雪舟」）
1/18	通所集団指導

(7) 防災活動状況

月	訓練種別	訓練内容	地域防災協力委員会
5	避難訓練 《夜間》	<ul style="list-style-type: none"> 大佐荘と夜間合同防災避難訓練の実施 職員及び地域防災協力委員の参加 消防署員の立会い 非常招集連絡網の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 夜間防災避難訓練参加 地域防災推進会議
7	防災教育	土砂災害の避難場所確認・非常食について	
7	防災避難訓練	苑裏手からの土砂災害発生を想定した防災避難訓練	
9	避難訓練 《夜間》	<ul style="list-style-type: none"> 大佐荘と合同訓練・消防署員の立会い 職員及び地域防災協力委員の参加 非常招集連絡網の確認・自主点検 	<ul style="list-style-type: none"> 夜間防災避難訓練参加 地域防災推進会議
11	火災避難訓練	デイサービス洗濯場を火元と想定した火災避難訓練	
2	災害避難訓練	震度5強程度の地震発生を想定した防災避難訓練	

8. 訪問介護事業所

【サービス方針】

1. 人権擁護・プライバシー保護について施設内研修を行ない、利用者・家族のプライバシーを尊重し個人情報保護・守秘義務厳守に努めました。
2. 利用者・家族の意向を確認し、自立した日常生活が営むことができるようサービス提供を行ないました。
3. 利用者・家族介護者のニーズをもとに自立支援を目指した訪問介護計画書を作成し、具体的内容を確認し差異の生じないよう常に改善を図りサービス提供を行ないました。
4. 訪問記録については、利用者・家族の心身・生活状態・提供したサービス内容がわかりやすいように作成しました。
5. 高齢者虐待防止法の研修会に参加し、意識の徹底を図りました。状況の小さな変化を見逃さないよう、利用者・家族の様子観察を行ない日頃のケアに努めました。
6. サービスに対するアンケート調査を行ない、利用者・家族の意見を基にサービスの質を評価し改善しました。
7. 積極的に介護技術・調理実習の研修会へ参加し訪問介護員としての資質向上に努めました。
8. 月1回の小地域ケア会議に参加し、地域包括支援センター・行政・居宅介護支援事業所等関係機関と、利用者のサービス内容・生活状況など情報交換しながら困難事例への対応を行ないました。
9. 日常生活支援総合事業の趣旨を理解し自立支援を目指し住み慣れた地域で安心して生活できるように支援しました。

【事務】

1. 介護実習生（新見公立短期大学3名：11月4日～11月22日）の受け入れを行ないました。

【介護】

1. 利用者・家族とのコミュニケーションを密に信頼される関係づくりに努めました。
2. 各種感染予防については、感染症マニュアルを繰り返し確認し蔓延防止することができました。

【別表】

(1) 訪問介護事業実績 (要介護) (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
訪問回数	148	153	144	161	150	137	158	120	143	159	158	142	1773

(2) 訪問介護総合事業実績 (要支援) (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
訪問回数	15	17	14	13	6	11	11	10	9	9	17	13	145

(3) 職員外部研修

日付	内 容
4/16	大佐地域ケア会議専門部会

5/15	大佐地域ケア会議専門部会
5/18	岡山県ホームヘルパー連絡協議会備前地区セミナー（岡山）
5/24	新見市ホームヘルパー協議会総会
6/22	岡山県ホームヘルパー連絡協議会備中地区セミナー（高梁）
8/3	新見市ホームヘルパー協議会研修会
8/13	大佐地域ケア会議専門部会)
9/20	大佐地域ケア会議
10/12	岡山県ホームヘルパー連絡協議会備中地区セミナー（新見）
10/22	大佐地域ケア会議専門部会
11/14	大佐地域ケア会議専門部会
12/13	大佐地域ケア会議専門部会
1/16	大佐地域ケア会議専門部会
2/10	大佐地域ケア会議専門部会
2/18	集団指導（岡山）
2/22	岡山県ホームヘルパー連絡協議会備前地区セミナー（岡山）

9. 居宅介護支援事業所

【サービス方針】

1. 利用者と家族の望む生活を目指した質の高いケアプランの作成が行えるよう、積極的に研修に参加し資質向上に努めました。（別表(5)）
2. 民生委員会（本年度5回）、ケア会議専門部会（本年度10回）を通じて、地域の協力者や行政等と積極的に連携することができました。
3. 新見市地域包括支援センターや関係病院と日常的に連絡を取り合い、積極的に新規利用者の受け入れを行いました。
4. 訪問介護事業所、通所介護事業所等と利用者の口腔・服薬の状況等について積極的に情報共有し、必要に応じて主治医へ情報提供を行い対応について指示を受けました。
5. 小地域ケア会議等で地域の居宅介護支援事業所として、個別ケースの検討を積極的に行いました。
6. 第7回の家族介護者教室では、外出行事を通じて参加された介護者17名にリフレッシュして頂くことができました。
7. 消費税増税に伴う介護報酬の改定時には、利用者へ分かりやすく説明を行いスムーズに移行することができました。

【事務】

1. 制度改定に伴うパソコンシステムの更新を行うとともに、各事業所の加算等体制の変更にも随時対応し業務を支障なく進めました。
2. 介護報酬改定を受け重要事項説明書等の修正を行い、利用者への分かりやすい説明に努めました。
3. 新見公立大学看護学科より14日間で延べ23名の実習生を受け入れ、同行訪問を中心にケアマネジメント業務の実習を実施しました。介護支援専門員実務研修見学実習は新型コロナウイルス感染拡大予防のため3日間の予定を2日間に短縮し、2名の実習を受け入れました。

【生活相談・苦情受付】

1. 年間研修計画に基づき、苦情について事業所内研修を実施しました。
また年1回の利用者満足度アンケートを実施し、過半数の利用者より回答を受け、高い評価を頂きました。

【別表】

(1) 相談状況

方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	64	85	54	54	75	56	58	46	54	56	63	61	726
来所	6	7	10	11	8	2	3	2	3	5	2		59
訪問	154	153	153	145	145	163	133	149	158	165	140	150	1808
巡回		1	1					1					3
出張	25	8	6	5	5	5	4	3	9	7	6	4	87
その他	5	2	5	3	1	4	2			7	9	5	43

(2) 認定調査実施件数

1	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定調査	6	5	7	6	7	3	9	7	11	4	8	4	75

(3) 介護保険給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	102	111	108	109	112	112	109	110	110	115	113	108	1,319
介護予防	17	16	16	16	16	17	16	17	15	15	16	16	193
事業対象	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11

(4) 相談内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	233	238	216	203	223	206	176	172	194	216	205	200	2,482
住宅改修	7	7	9	12	9	5	4	5	1	5	7	13	84
介護用品・福祉機器	106	86	73	77	85	61	65	73	79	82	62	78	927
心理的問題	13	10	10	11	9	3	4	10	4	6	4	2	86
デイサービス	160	174	153	130	157	153	138	125	157	178	151	140	1,816
ショートステイ	95	88	75	64	73	77	54	54	49	74	66	78	847
ホームヘルパー	35	32	41	43	49	46	30	48	35	40	35	41	475
訪問看護	28	31	24	28	21	25	20	17	20	16	12	26	268
通所リハビリ	4	2	6	5	3	1	2	4	4	3	4	2	40
訪問リハビリ	2	4	7	6	5	16	8	11	7	9	7	9	91
介護老親福祉施設	14	12	8	6	4	1	4	5	4	1	3	1	63
介護老人保健施設	4	3	6	10	4	3	3	6	1	2	3	5	50
その他施設	12	6	12	14	10	7	4	2	2	10	11	3	93
介護保険外施設	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
年金・手当・経済	2	3	4	1	2	3	3	0	4	1	0	2	25
医療疾病問題	207	204	195	174	178	179	172	166	184	197	174	172	2,202
介護保険	12	25	21	8	13	5	7	22	14	14	14	15	170
介護予防	5	2	1	0	4	0	1	0	0	1	1	2	17
申請代行	9	13	8	4	9	1	11	11	7	5	12	13	103
その他	4	5	4	4	5	7	2	1	0	5	5	5	47
合計	952	945	873	801	863	799	709	732	766	865	776	807	9,888

(5) 施設外研修

開催日	研修・会議名
7月26日	NPO 法人岡山県介護支援専門員協会主任ケアマネ部会
9月19日	第5回ケアマネジャー大会「これからの高齢者におけるケアマネジメントについて」
9月27日～ 11月14日	岡山県主任介護支援専門員更新研修 (9/27 10/3. 4. 15. 22. 23 11/13. 14 計8日間)
10月18日	岡山県認定調査員新規研修
11月09日	岡山県介護支援専門員協会ケアマネジメントセミナー「アンガーマネジメントについて」
12月03日	居宅介護支援事業所管理者研修
2月06日	高梁・新見地域 認知症疾患医療連絡協議会「認知症あるある事例を語ろう」

10. 大佐ひとりぐらし老人共同生活住宅(桜田荘)

【サービス方針】

1. 新見市と連携を図り、入居者の安全と安心のもてる生活支援に努めました。また、毎月新見市に施設の使用状況を報告しました。
2. 各関係機関との連携を強化し、健康で生きがいのある楽しい暮らしの支援に努めました。
3. 非常災害に備えて、業者による防火設備の点検を行いました。
4. 新見市の緊急通報事業を利用し、新見市告知放送緊急通報事業協力員への依頼・登録を行い緊急時に備えました。
5. 管理員による日々の安否確認・声かけにより入居者の要望の把握や安全の確保、定期的な清掃・環境整備を行い、建物設備の維持管理に努めました。
6. 近隣の小学校と行事等通じてふれあいが図れるように努めました。
7. 近隣住民等に夕涼み会等の行事に参加してもらい、交流を図りながら楽しんでもらう中で相互の連携強化に繋げました。
8. 入居者の家族との連携を強化し、より一層の生活向上に努めました。
9. 恵愛会関係職員による窓拭き等の環境整備の実施や、恵愛会関係の行事等の案内も行き、互いの施設の交流に努めました。

○入居者数 男性3名・女性1名 計4名(令和2年3月31日現在)